

中国語スピーチ 全国大会へ抱負

県大会入賞の2人

県日中友好協会主催の全日本中国語スピーチコンテスト県大会の入賞者2人が20日、県庁に長谷川卓地域外交担当部長を訪ね、1月10日に都内で開催される全国大会への抱負を語った。

2人は大学生朗読部門3等賞の静岡文化芸術大1年山本一聖香さん(18)と掛川市と一般朗読部門1等賞の高



長谷川卓地域外交担当部長(手前)を訪ねる山本一聖香さん(奥左)と高部智恵美さん(奥左から2人目)＝20日午後、県庁

部智恵美さん(35)と浜松市東区。2人とも10月に43人が参加して

オンラインで行われた県大会で好成績を収めた。全国大会に推薦された。山本さんは「全国大会に行けて感謝している。しっかり実力を発揮したい」と述べ、高部さんは「全国大会では朗らかに朗読することを心掛ける。中国の人と会話できるように勉強を続けたい」と意気込みを示した。長谷川部長は「日中関係は難しい状況だが、若者を中心に地に着いた交流をしてほしい」と今後の活躍に期待を寄せた。